

**南檜山地域推進方針（別冊）
～南檜山区域地域医療構想～**

南檜山地域医療構想区域

も く じ

第1節	基本的事項	-----	1 P
1	趣 旨		
2	当該構想区域		
3	名 称		
4	期 間		
5	進行管理		
第2節	地 勢	-----	3 P
1	地理的状況や特殊性		
2	交通機関の状況		
第3節	人口の推移	-----	6 P
1	人口の推移		
2	世 帯 数		
3	北海道人口ビジョン		
第4節	患者及び病院等の状況	-----	13 P
1	患者の受療動向		
2	地域別病床数の指標		
3	病院の病床利用率		
4	病院の平均在院日数		
5	医療施設の状況		
6	病床機能報告制度の結果		
7	医療従事者の状況		
8	介護サービスの状況		
第5節	医療需要及び必要とされる病床数の推計	-----	25 P
1	医療需要		
2	必要とされる病床の必要量の推計		

第6節	将来のあるべき医療提供体制を実現するための施策の検討	-----	32P
1	病床機能の分化及び連携の推進		
2	在宅医療の充実		
3	医療従事者の確保・養成		
第7節	5疾病・5事業の状況	-----	38P
1	5疾病・5事業の圏域		
2	指定医療機関等の状況		
第8節	地域医療構想策定後の取組	-----	39P
1	構想策定後の実現に向けた取組		
2	北海道知事による対応		
3	地域医療構想の実現に向けたPDCA		
4	住民への公表		
第9節	資料（データ等）	-----	43P
1	検討経緯		
2	地域医療構想調整会議設置要綱、委員名簿		
3	北海道の介護基盤整備状況		
4	南檜山管内5病院の主な沿革		

第1節 基本的事項

1 趣 旨

2025年（平成37年）にいわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる中、医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、切れ目のない医療及び介護の提供体制を構築するため、平成26年6月に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（一括法）」が成立しました。

この一括法では、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため、医療法の中で医療計画の一部として「地域医療構想」が位置付けられました。

今後の高齢化の進展を踏まえると、医療のあり方は、主に青年壮年期の患者を対象とした救命・救急、治療、社会復帰を前提とした「病院完結型」の医療から、「慢性疾患が多い」「複数の疾病を抱えることが多い」等の高齢者の特徴に合わせて、病気と共存しながら生活の質の維持・向上を目指す医療、患者の住み慣れた地域や自宅での生活のための医療、地域で支える「地域完結型」の医療に重点を移していく必要があります。

地域医療構想は、このような医療のあり方の変化や人口構造の変化に対応したバランスのとれた医療提供体制を構築することを目指すものであり、①強制的な手段ではなく、目指す姿を可視化・共有したうえで、自主的な取組や関係者による協議を通じて構想の達成を目指すこと、②飛躍的に増加している活用可能なデータを用いて、客観的なデータに基づく議論を行うこと、③地域ごとの人口構造の差や地域資源の違いに対応するため、地域ごとに目指す姿を設定すること、といった手法を用いるものです。

このような取組を通じてバランスのとれた医療提供体制とすることは、①患者の方々が、適切なりハビリを受けることや長期療養に適した環境で入院することなど、その状態に合ったケアが受けられるようになる、②病床機能に応じた医療従事者配置とすることにより、限られた医療人材を有効活用することができる、③適切な機能の病床への入院により、入院費用を適正化することができる、などの効果が期待でき、ひいては地域医療の確保につながるものです。

このような構想の考え方を踏まえつつ、平成27年3月に国から示された「地域医療構想策定ガイドライン」等を参考にしながら、平成27年7月に北海道で定めた「地域医療構想策定方針」に基づき、南檜山構想区域における「南檜山地域推進方針（別冊）～南檜山区域地域医療構想～」を取りまとめるものです。

2 当該構想区域

医療法に基づく「第二次医療圏」及び介護保険法に基づく「高齢者保健福祉圏域」と同じ区域とし「南檜山構想区域」とします。

3 名 称

「北海道医療計画〔改定版〕南檜山地域推進方針（別冊）～南檜山区域地域医療構想～」とします。

4 期 間

平成29年度までを終期とする「北海道医療計画〔改定版〕南檜山地域推進方針」の一部として策定しますが、地域医療構想に関する事項については、2025年（平成37年）における医療需要を推計するとともに、国から示された病床利用率に基づき、必要とされる病床数を推計します。

5 進行管理

この構想は、住民・患者の視点に立ち、道や市町村などの行政機関、医療提供者、関係団体及び住民が、地域の最も重要な社会基盤の一つである医療提供体制の確保に向け、毎年度、南檜山圏域地域医療構想調整会議において、直近の病床機能報告制度における報告内容などとの比較や検証を実施していきます。

第2節 地 勢

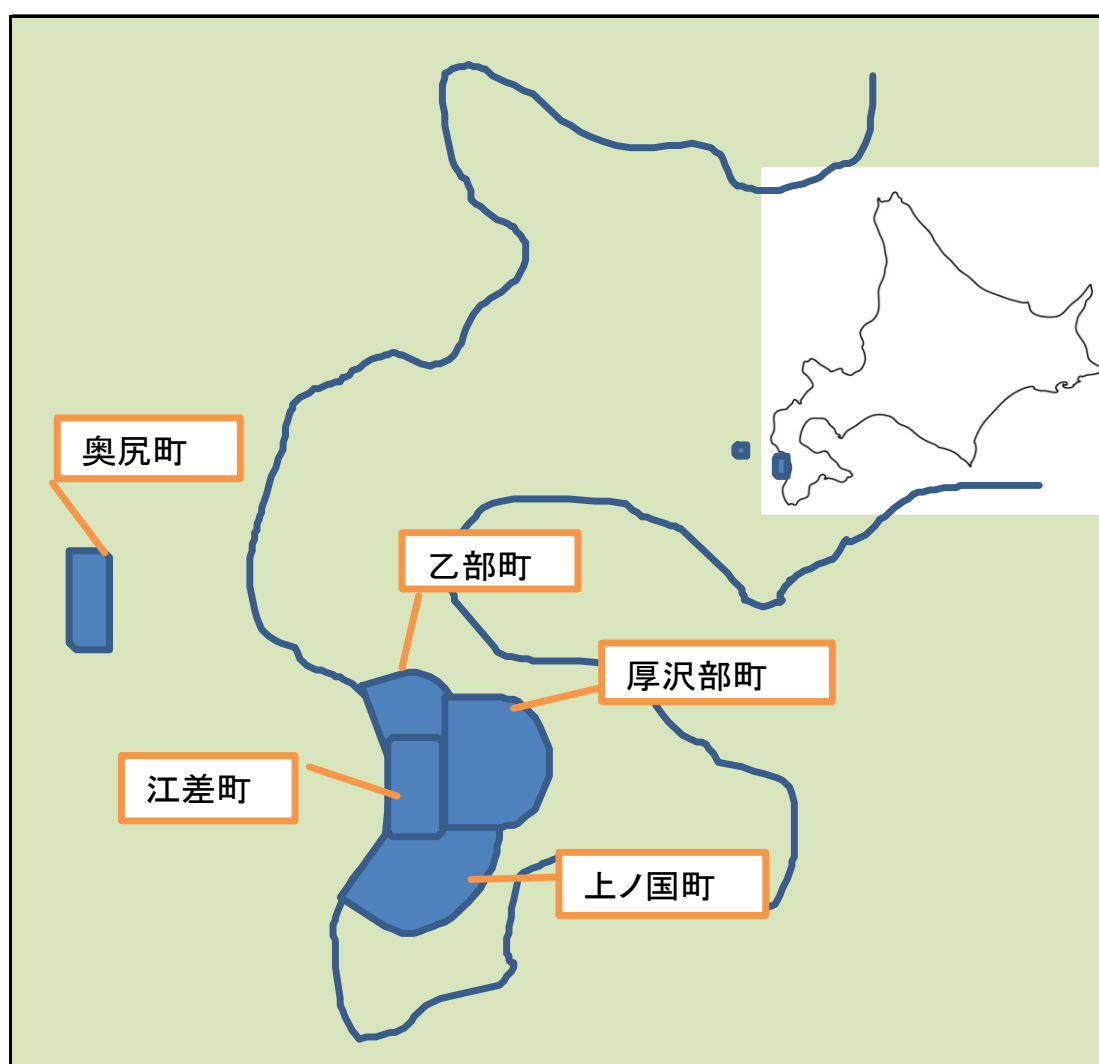
1 地理的状況や特殊性（南檜山圏域の地勢）

当圏域は北海道の南西部、渡島半島の日本海側に位置し、南北に細長い地形であり、江差沖61kmにある離島の奥尻町を含む5町で構成されています。

圏域内を流れる主要な河川には、厚沢部川、天の川などがあり、その流域は、肥沃な農耕平野地帯を形成しています。

平野を除いて圏域面積のほとんどは、森林であり、人工林であるスギ、トドマツを除くと、ブナ、カエデなどの天然広葉樹林によって占められています。

また、圏域内を鳥海火山帯が縦走り、波状性丘陵地、波状性段隆地が多く、その丘陵の多くは海岸線にまで迫る地形となっています。



2 交通機関の状況

(1) 交通機関の状況

ア 空 路

圏域内唯一の空港である「奥尻空港」は隣接圏域内の函館空港との間に定期航空路が開設されており、その所要時間は約30分です。



イ 航 路

フェリーは奥尻町と江差町（通年運航）、奥尻町とせたな町（冬期運休）の間を運航しています。

所要時間はそれぞれ約２時間１０分（奥尻町～江差町）と１時間３５分（奥尻町～せたな町）です。

ウ 鉄 路

鉄道はJR江差線が生活路線となっていました。平成２６年５月限りで廃線となり、バス転換されました。

エ 道 路

圏域内は、鉄道路線がないことや、散在型集落が多く形成されている地理的条件などから、自動車交通への依存度が高く、道路は住民生活の上できわめて重要な役割を担っています。自動車利用でも、函館市までは片道約１時間から２時間、離島奥尻からは約４時間（フェリー・自動車利用の場合）の所要時間です。圏域から札幌市への自動車による所要時間は約５時間です。

国道は、南渡島圏域の松前町と北渡島檜山圏域のせたな町（旧大成町）を結ぶ海岸沿いに江差町を発着点とする２２８号線と２２９号線が縦走し、また、渡島半島を横断する路線として、江差町から南渡島圏域の北斗市（旧大野町）を経て函館市に至る２２７号線と旧熊石町（現八雲町）から八雲本町に通ずる２７７号線があります。道道も国道を補完し有機的な役割を果たす生活路線として利用されています。

なお、江差町を発着点とする高規格幹線道路函館・江差自動車道が平成２年に着工され（一部区間供用開始中）、近隣圏域間の交流を促し、重要港湾函館港、函館空港への物流の効率化と生活の利便性の向上が期待されます。

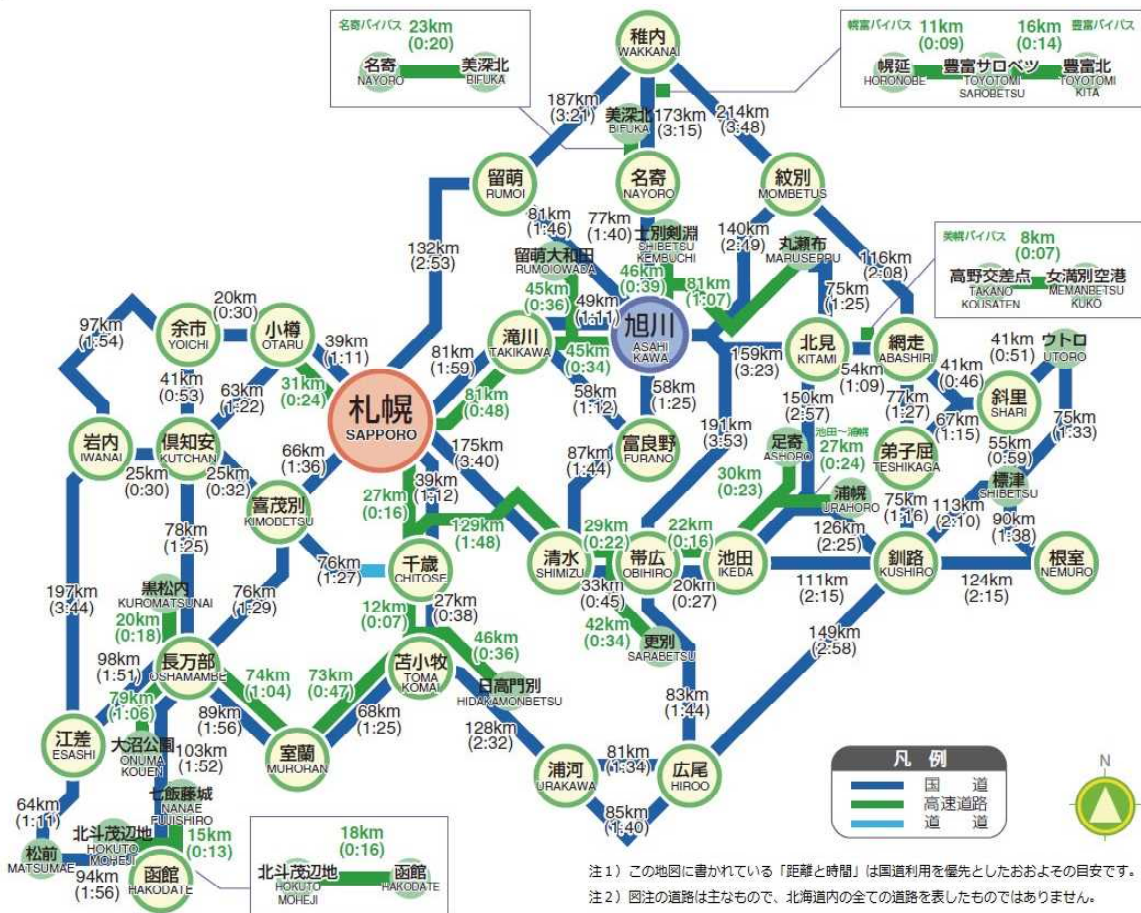
また、完成後は交通の安全性が促進され、防災代替路としても有効に機能することが期待されます。

北の道ナビ

ドライブに役立つ情報が満載!

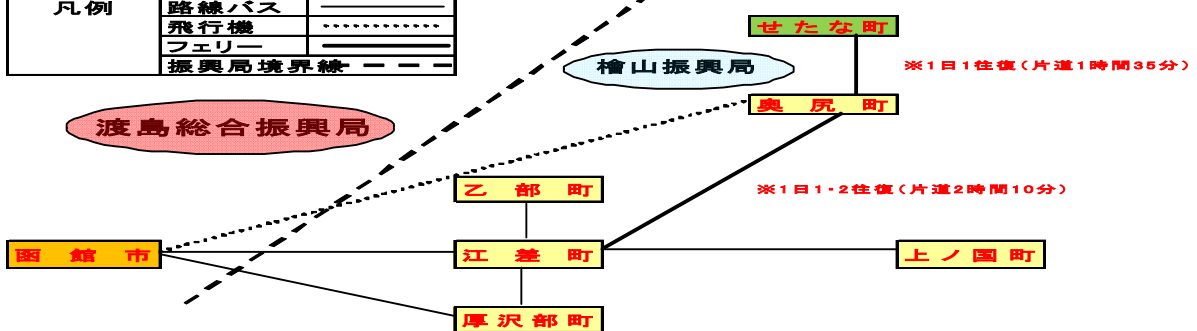
[PC版・携帯版] 日本語・英語・韓国語・中国語
携帯電話でも距離と時間検索が利用可能

<http://n-rd.jp/> (PC&携帯3社対応)



【管内の交通機関等】

凡例	路線バス	———
	飛行機
	フェリー	———
	振興局境界線	---



【主要都市間の距離と時間】

	江差町	上ノ国町	厚沢部町	乙部町	奥尻町	函館市
江差町		0:11	0:15	0:17	2:10(船)	1:33
上ノ国町	8.0		0:26	0:28		1:44
厚沢部町	13.0	21.0		0:25		1:18
乙部町	13.0	21.0	12.0			1:50
奥尻町						0:30(飛)
函館市	72.0	80.0	59.0	72.0		

(km)

※「北海道の道路情報総合案内サイト:北の道ナビ」等による。

(2) 生活圏

南檜山圏域では、人口が離島1町及び4町の内て散在して分布し、人口は少子高齢化の進展とともに減少傾向にあります。

また、医療機関や大型商業店舗については、函館市を含めた南渡島圏域と結びつきが強い傾向にあります。

第3節 人口の推移

1 人口の推移

(1) 総人口の推移

平成25年3月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の推計によると北海道全体では、平成22年(2010年)と平成37年(2025年)を比較した場合、65歳以上人口は35万5千735人増加しますが、65歳未満人口は90万2千170人減少することから、総人口では54万6千435人減少します。

なお、南檜山圏域では、65歳以上人口は各町とも平成32年(2020年)までにピークを迎えるため176人減少し、65歳未満人口も6千980人減少することから、総人口では7千156人減少します。

(単位：人)

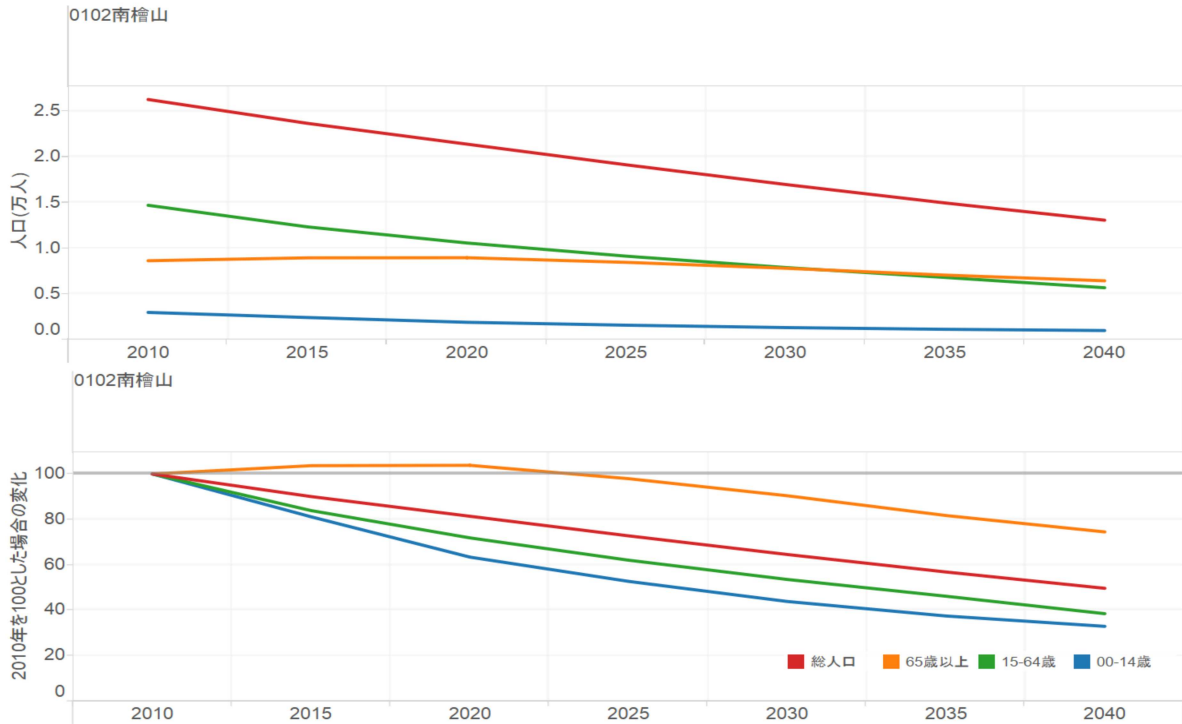
区分	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全道	5,506,419	5,361,296	5,178,053	4,959,984	4,719,100	4,462,042	4,190,073
南檜山圏域	26,282	23,667	21,391	19,126	16,970	14,947	13,061
江差町	9,004	8,121	7,335	6,626	5,911	5,229	4,590
上ノ国町	5,428	4,822	4,295	3,772	3,282	2,831	2,410
厚沢部町	4,409	4,035	3,685	3,331	2,999	2,696	2,412
乙部町	4,408	4,027	3,678	3,319	2,970	2,635	2,325
奥尻町	3,033	2,662	2,358	2,078	1,808	1,556	1,324

* 国立社会保障人口問題研究所(平成25年3月推計)

(2) 年齢区別の推計

2次医療圏人口の変化

都道府県 01北海道 MED2title 0102南檜山



* 地域別人口・外来患者数推計/簡易版 (Koichi B. Ishikawa作成データ)

二次医療圏 南檜山

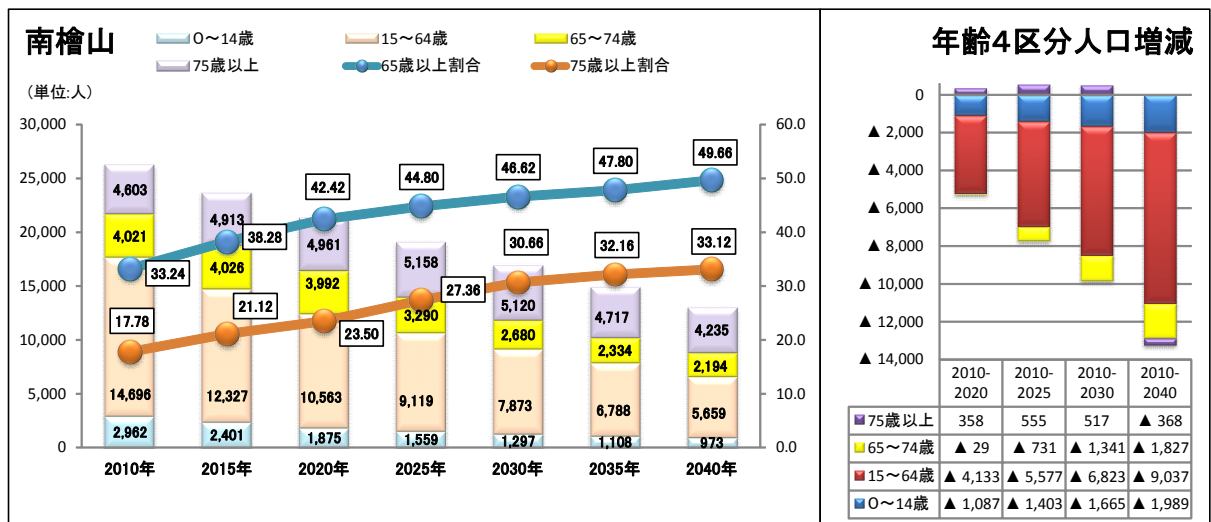
国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口 (平成25年3月推計) による。

(単位:人)

年度	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2010-2020	2010-2025	2010-2030	2010-2040
0~14歳	2,962	2,401	1,875	1,559	1,297	1,108	973	▲ 1,087	▲ 1,403	▲ 1,665	▲ 1,989
15~64歳	14,696	12,327	10,563	9,119	7,873	6,788	5,659	▲ 4,133	▲ 5,577	▲ 6,823	▲ 9,037
65~74歳	4,021	4,026	3,992	3,290	2,680	2,334	2,194	▲ 29	▲ 731	▲ 1,341	▲ 1,827
75歳以上	4,603	4,913	4,961	5,158	5,120	4,717	4,235	▲ 358	▲ 555	▲ 517	▲ 368
合計	26,282	23,667	21,391	19,126	16,970	14,947	13,061	▲ 4,891	▲ 7,156	▲ 9,312	▲ 13,221

(単位:%)

年齢構成割合	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳割合	11.16	9.98	8.58	7.98	7.52	7.28	7.30
14~64歳割合	55.62	51.74	48.98	47.22	45.84	44.92	43.02
65歳以上割合	33.24	38.28	42.42	44.80	46.62	47.80	49.66
75歳以上割合	17.78	21.12	23.50	27.36	30.66	32.16	33.12



(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

2 世帯数

世帯総数のうち、単身高齢者（65歳以上）世帯数の割合は、全国平均9.2%に比べ、北海道の平均は10.8%と高い状況にあります。

また、構想区域（第二次医療圏）別では、札幌及び根室区域以外の19区域において、全国平均を上回っており、特に南檜山圏域では15.3%と全道で最も高い状況となっています。

（単位：世帯、%）

区 分	世帯総数	単身高齢者 世帯数	単身高齢者 世帯数割合	
全 国	51,842,307	4,790,768	9.2%	
北 海 道	2,418,305	261,553	10.8%	
南 渡 島	174,333	23,337	13.4%	
南 檜 山	11,311	1,730	15.3%	
北渡島檜山	17,194	2,529	14.7%	
札 幌	1,055,709	95,532	9.0%	※全国平均以下
後 志	101,454	15,187	15.0%	
南 空 知	74,246	10,319	13.9%	
中 空 知	51,590	7,665	14.9%	
北 空 知	14,681	1,904	13.0%	
西 胆 振	89,455	11,910	13.3%	
東 胆 振	94,275	9,846	10.4%	
日 高	32,292	4,104	12.7%	
上川中部	176,020	20,617	11.7%	
上川北部	30,439	3,748	12.3%	
富 良 野	18,356	1,809	9.9%	
留 萌	23,237	3,141	13.5%	
宗 谷	32,302	3,642	11.3%	
北 網	100,850	10,444	10.4%	
遠 紋	33,291	4,327	13.0%	
十 勝	147,709	14,752	10.0%	
釧 路	107,359	12,230	11.4%	
根 室	32,202	2,780	8.6%	※全国平均以下
南檜山圏域	11,311	1,730	15.3%	
江 差 町	3,939	558	14.2%	
上ノ国町	2,302	358	15.6%	
厚沢部町	1,853	279	15.1%	
乙 部 町	1,860	324	17.4%	
奥 尻 町	1,357	211	15.5%	

*平成22年度国勢調査

2 北海道人口ビジョン

今回の地域医療構想は、国の地域医療構想策定ガイドラインに基づき、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計を用いますが、平成27年10月に策定した「北海道人口ビジョン～北海道の人口の現状と展望～」においては、次のとおり人口の将来を展望しています。今回の病床推計については、このような取組みによる今後の人口構造の変化等を踏まえながら見直しが行われると想定しています。

北海道人口ビジョン（抜粋）

人口の将来展望

1 人口分析のまとめ

本道は、自然減と社会減が相まって、全国よりも約10年早く人口減少局面に入り、2010（平成22）年の人口は、ピーク時より約19万人少ない550.6万人となっている。

自然減は、2014（平成26）年の1年間で約23,000人となっているが、その主な要因は出生率・出生数の減少であり、理由としては、若者の不安定な雇用状況や核家族化の進行などによる未婚・晩婚・晩産化が考えられる。

社会減は、2014（平成26）年の1年間で約8,900人となっており、進学・就職等による首都圏への転出が主な要因であると考えられる。

また、地域からの札幌市への人口集中が進行しており、札幌市の出生率の低さが北海道全体の人口減少を加速させる要因となっている。

国の推計によると、今後、有効な対策を講じない場合、本道の人口は、2010（平成22）年の550.6万人から、2040年には419万人と、131.6万人（▲23.9%）の減少となり、小規模市町村ほど減少が加速すると見込まれる。

このことにより、就業者数の著しい減少による生産・消費の減少や、高齢者人口割合の増加による医療費・介護費負担の増大、地域交通の利便性の大きな低下など、道民生活の様々な場面に大きな影響を及ぼすことが懸念される。

2 目指すべき将来の方向

道民の結婚・出産・子育ての希望に関して、国立社会保障・人口問題研究所が実施した「第14回出生動向基本調査結果」（2010（平成22）年）によると、いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、北海道で男性85.2%、女性84.1%と、ともに8割を超えているものの、全国平均の男性86.3%、女性89.4%に比べると、いずれも低い水準にある。

また、夫婦の理想とする子ども数は、北海道で男性2.33人、女性1.97人であったが、夫婦が実際に持つ子どもの数である完結出生児数は1.81人となっている。

移住・定住の希望に関して、2013（平成26）年の道民意識調査によると、「現在住んでいる市町村にこれからも住み続けたいと思うか」との問いに対し、「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」との回答の割合が76.2%と、全体の4分の3以上にのぼっている。

2014（平成26）年に国が実施した「東京在住者の今後の移住に関する基本調査」によると、東京在住者のうち、今後移住する、または移住を検討したいと回答した人は40.7%と全体の4割、うち関東圏以外の出身者では49.7%と全体の5割にのぼる。

こうした希望を現実のものとするため、自然減及び社会減の両面から人口減少の進行を緩和する取組とともに、人口減少社会の中で道民の暮らしの安心を確保するための取組を一体的に進め、「幅広い世代の人々が集い、つながり、安心して暮らせる包容力のある北海道」の実現を目指す。

3 人口の将来展望

「目指すべき将来の方向」の実現に向け、今後、道民をはじめ、幅広い分野の方々と連携し、人口減少対策を進めていくために必要な人口の将来展望を示す。

国による推計を基に試算すると、総人口は2010年の550.6万人から2040年には419万人となり、131.6万人減（▲23.9%）となるが、合計特殊出生率が、国の長期ビジョンと同様、2030年までに1.8、2040年までに2.07（人口置換水準）まで上昇し、純移動数が現在の約▲8,000人から2019年で▲4,000人、2025年で0になると仮定した場合は、2040年には約458万人となる。

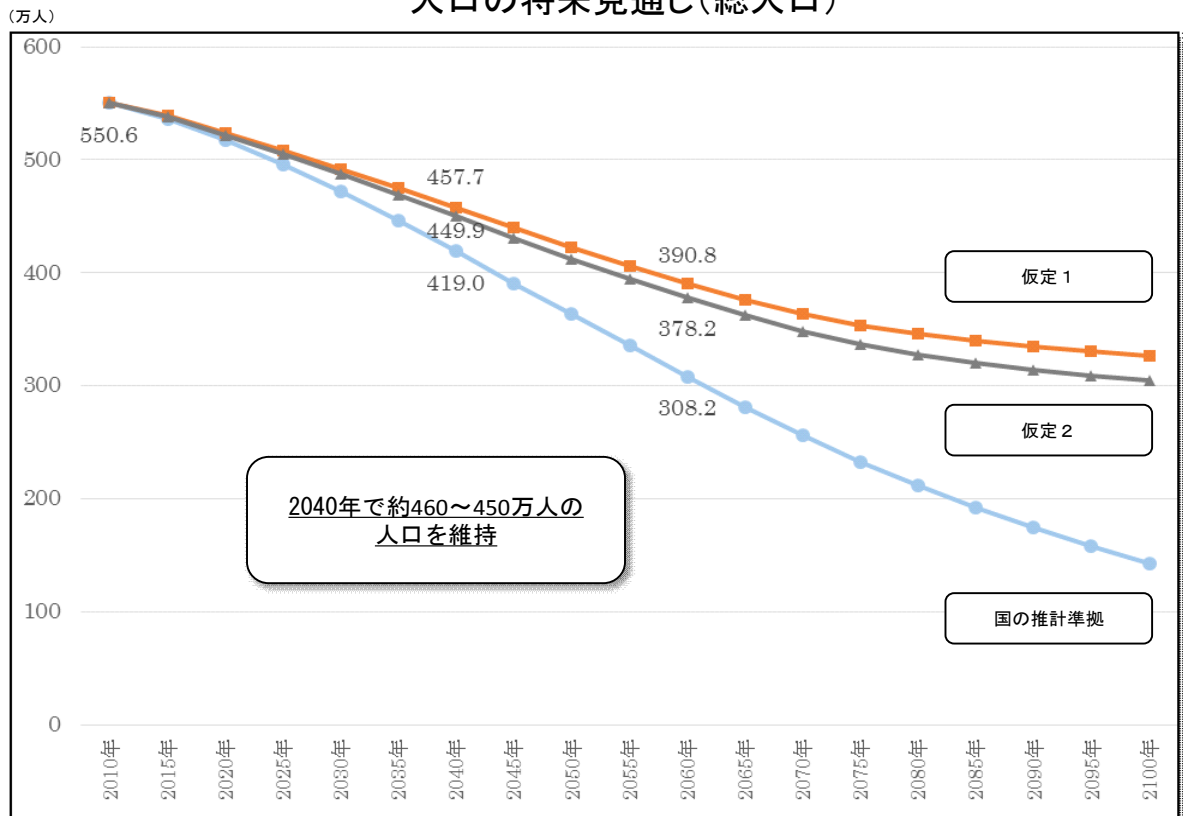
さらに、札幌市の合計特殊出生率が全道平均より低いことを考慮し、札幌市の合計特殊出生率を2030年に1.5、2040年に1.8、2050年に2.07と、約10年ずつ遅れて上昇すると仮定した場合は、2040年の総人口は約450万人となる。

こうした2つの仮定を踏まえ、今後、札幌市における少子化対策の充実強化はもとより、北海道全体として、自然減、社会減対策を効果的かつ一体的に行うことにより、本道の人口は2040（平成52）年に約460～450万人を維持することが可能となる。

なお、これらの仮定に基づき推計した高齢者の人口割合は、国の推計が2040年を超えても上昇していくのに比べ、人口構造の高齢化抑制の効果が2045年頃に現れ始め、その後、低下する。

人口置換水準：人口が制止する合計特殊出生率の水準のことであり、若年期の死亡率が低下している日本においては、夫婦2人から概ね2人の子どもが生まれれば人口が制止することになる。現在の日本の場合、2.07となっている。

人口の将来見通し(総人口)



< 仮定1 : 2040年の人口約458万人 >

① 自然動態

合計特殊出生率は、国の長期ビジョンと同様、2030（平成42）年に1.8、2040（平成52）年に2.07の人口置換水準まで上昇する。

② 社会動態

道外への転出超過数は、現在、約▲8,000人であるが、2016（平成28）年以降、マイナスが縮小し、2019（平成31）年で、現在の半分の▲4,000人になる。

2020（平成32）年以降もマイナス幅は縮小し、社人研推計と同様に、2025（平成37）年で社会増減数が均衡し、転出超過がゼロとなる。

< 仮定2 : 2040年の人口約450万人 >

① 自然動態

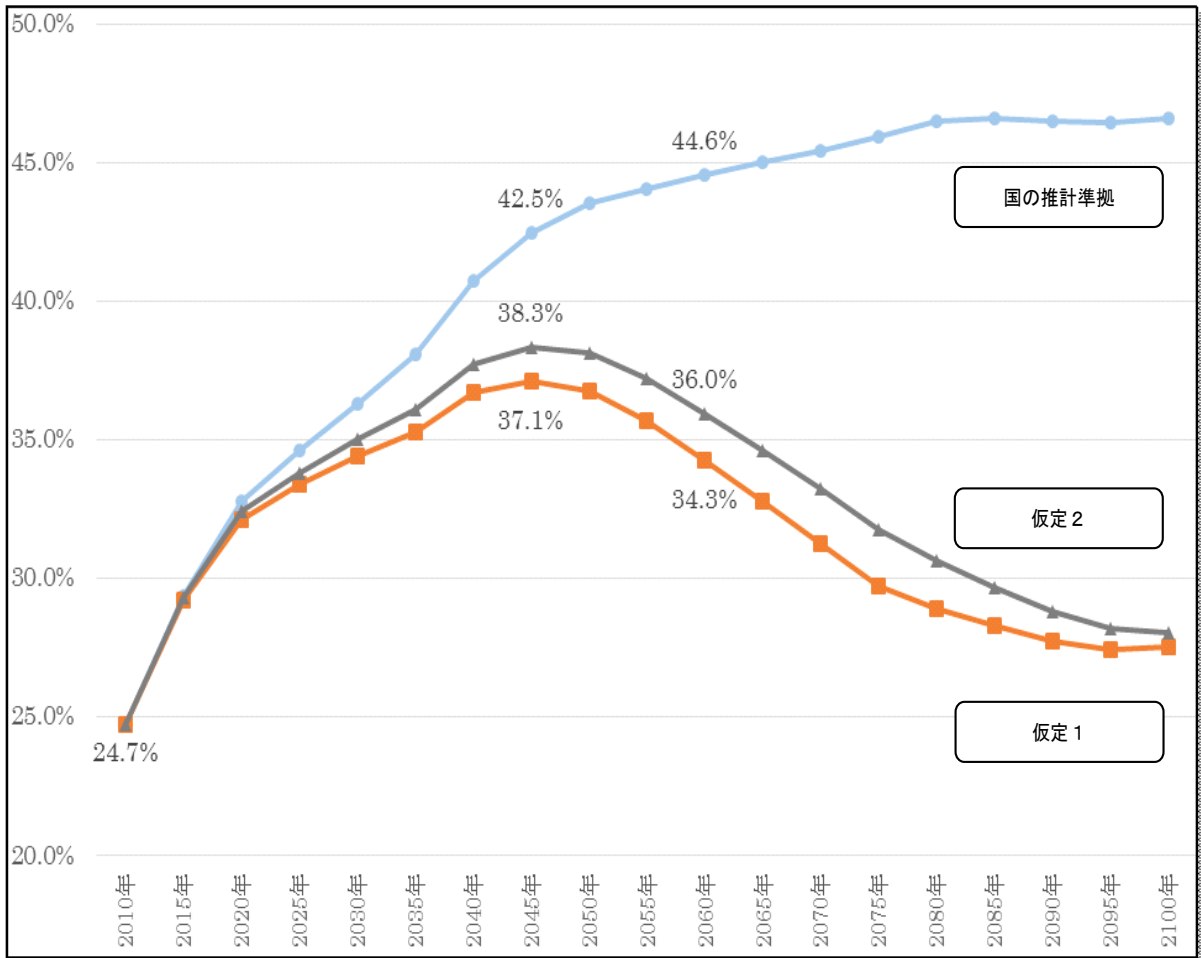
合計特殊出生率は、札幌市に関しては、2030（平成42）年に1.5、2040（平成52）年に1.8、2050（平成62）年に2.07まで上昇する。

札幌市以外は仮定1と同様に、2030（平成42）年に1.8、2040（平成52）年に2.07まで上昇する。

② 社会動態

社会増減に関しては、仮定1と同様に推移する。

高齢者人口割合の推移



第4節 患者及び病院等の状況

1 患者の受療動向

入院の受療動向は、次のとおりであり、南檜山圏域における入院自給率は66.0%、南渡島圏域への流出が28.7%、その他圏域への流出が5.3%となっています。

- ・入院（一般及び療養）患者受療動向

入院患者受療動向（平成26年度）

H26年度データ（入院）

	医療圏別2次医療圏																						
	南渡島	南檜山	北渡島 檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川 中部	上川 北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠敷	十勝	釧路	根室	その他	
医療 保 険 者 2 次 医 療 圏	南渡島	97.1%	0.1%	0.5%	1.5%	0.1%						0.1%											0.5%
	南檜山	28.7%	66.0%	1.2%	3.3%	0.4%																	0.4%
	北渡島 檜山	17.2%	1.3%	72.5%	6.4%	0.1%	0.1%			2.2%	0.1%												0.2%
	札幌			0.1%	98.3%	0.4%	0.4%	0.1%		0.1%	0.1%												0.5%
	後志	0.1%		0.8%	25.4%	71.7%	0.1%			1.4%					0.1%								0.4%
	南空知			0.1%	24.0%	0.3%	73.1%	1.5%		0.1%	0.3%				0.2%							0.1%	0.3%
	中空知	0.1%		0.1%	13.6%	0.1%	3.4%	77.9%	0.2%		0.1%			3.5%		0.8%						0.1%	0.1%
	北空知			0.4%	6.8%	0.4%	3.0%	7.9%	55.1%					26.1%		0.1%	0.1%						0.1%
	西胆振	0.1%		0.5%	8.2%	0.5%	0.1%							89.2%	1.2%								0.2%
	東胆振	0.1%			13.9%	0.4%	0.4%							3.7%	80.9%	0.2%						0.1%	0.2%
	日高	0.1%		0.1%	22.0%	0.1%	0.1%							0.2%	13.3%	61.5%						2.2%	0.2%
	上川 中部			0.2%	1.3%		0.1%		0.1%					98.0%	0.1%	0.1%				0.1%		0.1%	0.2%
	上川 北部			0.2%	4.5%		0.4%							19.6%	74.8%				0.2%	0.2%		0.1%	0.1%
	富良野			0.1%	5.1%		0.2%	0.2%						22.4%		70.7%						1.3%	0.0%
	留萌			0.2%	19.0%	0.3%	0.4%	0.7%	1.0%	0.1%				13.1%	0.7%		62.6%	1.5%				0.2%	0.2%
	宗谷	0.1%		0.2%	20.2%	4.1%	0.2%	0.1%	0.1%					10.0%	5.1%		0.1%	58.7%	0.2%	0.6%			0.4%
	北網			0.2%	4.3%									0.9%					86.5%	0.1%	0.1%	0.4%	7.6%
	遠敷				7.5%	0.1%	0.3%							6.9%	1.3%				11.9%	69.2%	0.2%	0.1%	2.6%
	十勝			0.1%	2.4%	0.2%	0.1%							0.3%					0.7%		94.8%	0.2%	1.2%
	釧路			0.2%	3.2%	0.1%	0.1%							0.1%					0.6%		1.2%	93.6%	0.5%
	根室			0.3%	4.7%	0.2%	0.1%							0.6%					1.1%		1.0%	21.1%	70.8%

（東北大学 藤森教授 平成26年度国民健康保険及び後期高齢者医療制度の入院レセプトに基づく分析から）

2025年における病床4機能別（※）の入院患者の受療動向は、2013年の入院需要のとおりと想定した場合、次の表のように推計されます。

今回の構想においては、高度急性期から急性期については、現状の患者の流出入を大きく変化させることは難しいとの考え方の元、患者の流出入が継続すると想定し、回復期から慢性期については、できるだけ住所地に近いところで入院を可能とすることが望ましいとの考え方の元、第二次医療圏で完結することとして想定しています。

※病床4機能及びそれぞれに属する患者像例はP27を参照してください。

2025年 4機能別医療需要（二次医療圏別）

2025年 4機能別医療需要（北海道）【高度急性期】

※ 0.0 ～10人未満のため秘匿

単位：人/日

	医療機関所在地																						
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室		
患者住所在地	南渡島	394.8	0.0	0.0	10.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	
	南檜山	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	
	北渡島檜山	18.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0	
	札幌	0.0	0.0	0.0	2,532.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後志	0.0	0	0.0	84.9	117.4	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南空知	0.0	0	0.0	66.1	0.0	66.6	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	中空知	0.0	0	0	15.4	0.0	0	80.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北空知	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	11.3	0.0	0.0	0	14.3	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	西胆振	0.0	0	0.0	16.4	0.0	0.0	0.0	0	195.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0
	東胆振	0.0	0	0	33.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	149.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0
	日高	0.0	0	0	24.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.7	14.4	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0
	上川中部	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	398.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	上川北部	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	23.3	35.1	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	富良野	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	19.4	0.0	17.3	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0
	留萌	0	0.0	0	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	11.8	0.0	0.0	25.8	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0
	宗谷	0.0	0	0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	10.8	0.0	0	0	20.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	北網	0.0	0	0	18.3	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	189.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠紋	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	13.0	0.0	0.0	0	0.0	11.3	33.8	0.0	0.0	0	0
	十勝	0.0	0	0	16.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	265.1	0.0	0.0	0.0
	釧路	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	221.3	0.0
根室	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.6	14.2	

(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

2025年 4機能別医療需要（北海道）【急性期】

※ 0.0 ～10人未満のため秘匿

単位：人/日

	医療機関所在地																						
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室		
患者住所在地	南渡島	1,272.0	0.0	0.0	26.1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	南檜山	36.7	39.2	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	
	北渡島檜山	41.6	0.0	76.5	14.5	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0	
	札幌	0.0	0.0	0.0	7,535.4	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後志	0.0	0	0.0	201.6	481.1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	南空知	0.0	0	0.0	177.5	0.0	336.4	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	中空知	0.0	0	0	39.4	0.0	0.0	297.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北空知	0.0	0	0	0.0	0	0.0	10.3	71.6	0	0.0	0	31.9	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	西胆振	0.0	0	0.0	39.8	0.0	0.0	0.0	0	584.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	東胆振	0.0	0	0	89.9	0.0	0.0	0.0	0	15.6	518.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0
	日高	0.0	0	0	59.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.1	79.2	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0
	上川中部	0.0	0	0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	1,166.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上川北部	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	46.7	143.1	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	富良野	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	36.5	0.0	88.2	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0
	留萌	0	0	0	27.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	23.4	0.0	0.0	109.5	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0
	宗谷	0.0	0	0	47.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	22.4	21.1	0.0	0.0	94.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	北網	0.0	0	0	36.9	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	10.9	0.0	0.0	0	0.0	578.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠紋	0.0	0	0	19.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	26.5	0.0	0.0	0	0	23.7	142.3	0.0	0.0	0	0
	十勝	0.0	0	0.0	33.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	871.6	0.0	0.0	0.0
	釧路	0.0	0	0	18.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	768.0	0.0
根室	0.0	0	0	17.5	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	102.6	74.1	

(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

2025年 4機能別医療需要(北海道)【回復期】

※ 0.0 ~10人未満のため秘匿

単位: 人/日

患者住所在地	医療機関所在地																				
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室
南渡島	1,411.2	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
南檜山	41.1	60.1	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0
北渡島檜山	42.2	0.0	112.1	14.8	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0
札幌	0.0	0.0	0.0	7,842.1	27.3	27.7	0.0	0.0	0.0	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
後志	0.0	0	0.0	205.4	544.1	0.0	0.0	0	10.2	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
南空知	0.0	0	0.0	175.3	0.0	439.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
中空知	0.0	0	0	40.1	0.0	0.0	325.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0
北空知	0	0	0	0.0	0	0.0	10.9	92.0	0	0.0	0	28.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
西胆振	0.0	0	0.0	39.1	0.0	0.0	0.0	0	505.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0
東胆振	0.0	0	0	81.1	0.0	0.0	0.0	0	21.5	607.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0
日高	0.0	0	0	57.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.6	106.6	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0.0	0
上川中部	0.0	0	0	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	1,414.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
上川北部	0.0	0	0	10.2	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	49.1	163.7	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
富良野	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	36.1	0	113.4	0	0	0	0	0.0	0.0	0
留萌	0	0.0	0	26.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	18.2	0.0	114.4	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
宗谷	0.0	0	0	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	21.7	13.5	0	0.0	159.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0
北網	0.0	0	0	33.5	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	617.8	0.0	0.0	0.0	0.0
遠紋	0.0	0	0	20.1	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	22.2	0.0	0.0	0	0.0	27.6	179.2	0.0	0.0	0
十勝	0.0	0	0	28.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	1,031.9	0.0	0.0
釧路	0.0	0	0	17.4	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	662.0	0.0
根室	0	0	0.0	15.9	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	84.6	108.2

(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

2025年 4機能別医療需要(北海道)【慢性期(パターンC)】

※ 0.0 ~10人未満のため秘匿
※ * パターンCを選択可能な区域

単位: 人/日

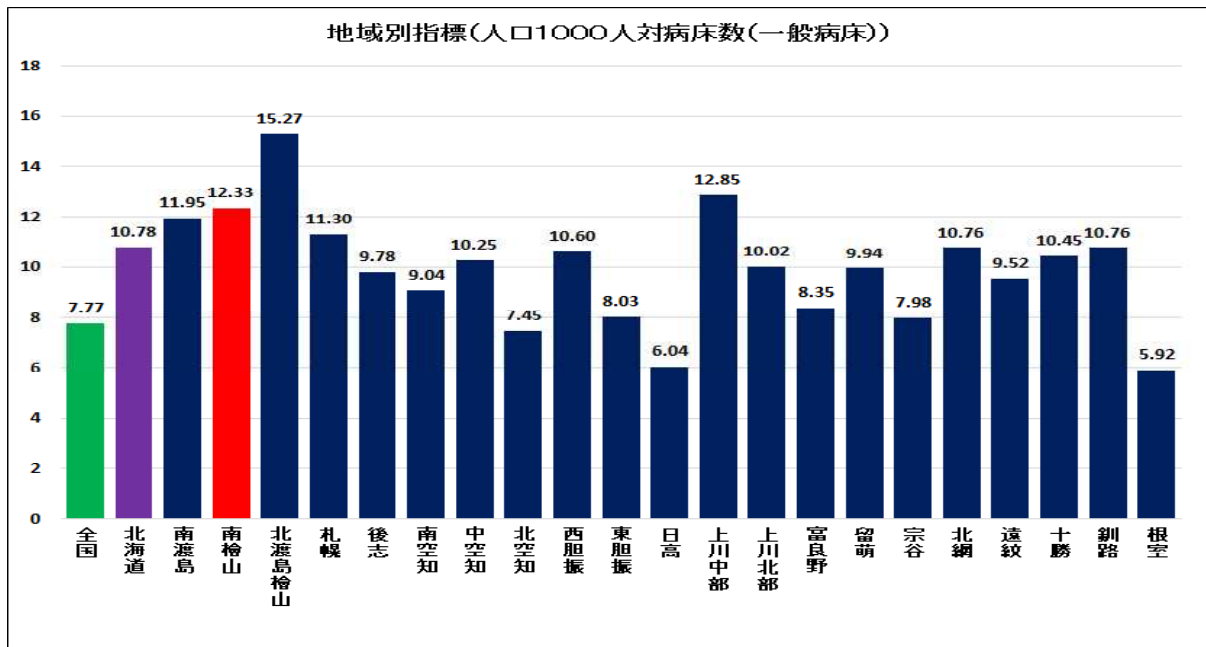
患者住所在地	医療機関所在地																				
	南渡島	南檜山	北渡島檜山	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	日高	上川中部	上川北部	富良野	留萌	宗谷	北網	遠紋	十勝	釧路	根室
南渡島	748.5	0.0	42.8	18.9	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0
南檜山 *	11.2	42.2	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北渡島檜山 *	0.0	0.0	139.6	28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
札幌	0.0	0.0	18.4	10,778.6	93.8	35.2	15.2	0.0	11.0	25.6	0.0	20.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
後志 *	0.0	0.0	0.0	372.1	714.9	0.0	0.0	0.0	55.3	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0
南空知 *	0	0	0.0	176.0	0.0	383.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中空知 *	0	0	0.0	49.4	0.0	0.0	490.7	10.3	0.0	0.0	0.0	13.8	0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0
北空知 *	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.6	202.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
西胆振 *	0.0	0.0	0.0	37.1	10.2	0	0	0	974.6	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東胆振	0.0	0	0.0	92.3	0.0	0.0	0	0	32.8	474.5	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
日高 *	0	0	0.0	44.5	0.0	0.0	0.0	0	0.0	15.7	163.8	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0
上川中部	0.0	0	0.0	28.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	1,317.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上川北部 *	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	24.8	191.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0
富良野	0	0	0.0	11.3	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	23.8	0	105.1	0	0	0	0	0.0	0	0
留萌 *	0	0	0.0	31.0	0	0.0	0.0	26.4	0.0	0	0	11.6	0	0.0	101.5	0.0	0	0	0.0	0	0
宗谷	0	0	0.0	33.2	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0.0	90.2	0.0	0.0	0	0.0	0
北網 *	0.0	0	0.0	23.6	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	531.5	0.0	13.1	10.7	0.0
遠紋 *	0	0	0.0	13.9	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0.0	0	0	0	21.0	191.7	0.0	0	0
十勝	0	0	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	15.4	0	1,184.4	0.0	0.0
釧路 *	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	10.4	0.0	18.8	646.6	0.0
根室	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	29.3	75.0

北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

2 地域別病床数の指標

(1) 一般病床

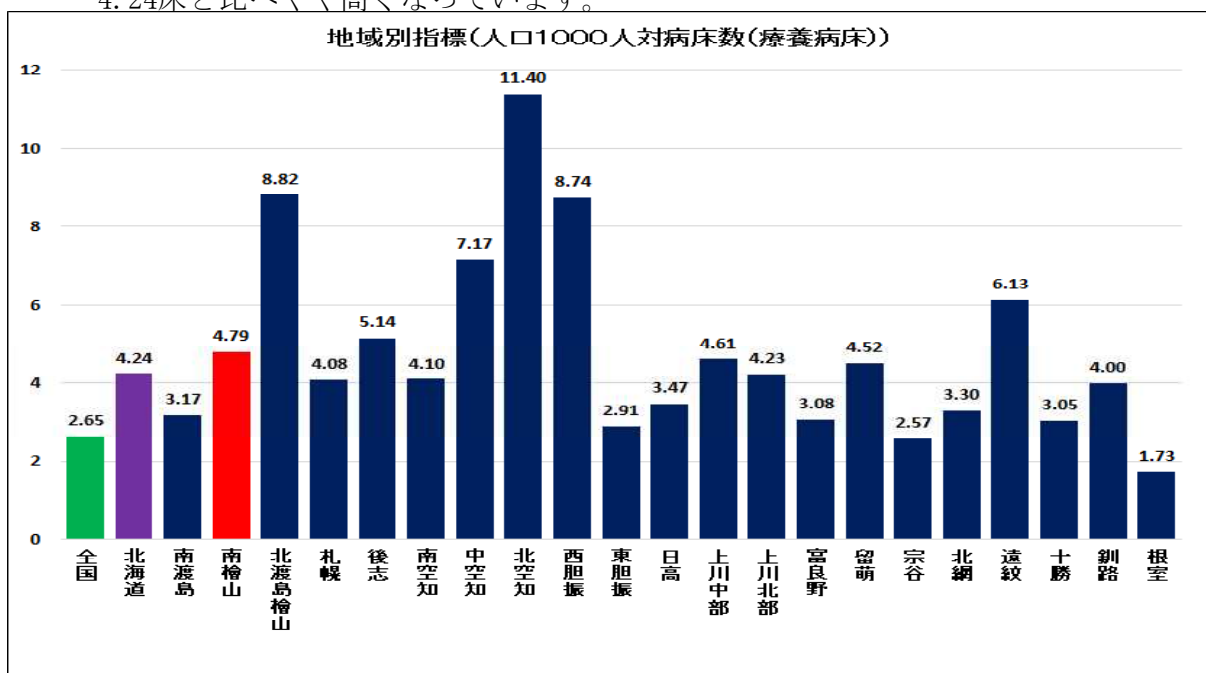
南檜山圏域では人口1000人対病床数で12.33床となっており、全国7.77床、全道10.78床と比べ高くなっています。



(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

(2) 療養病床

南檜山圏域では人口1000人対病床数で4.79床となっており、全国2.65床、全道4.24床と比べやや高くなっています。

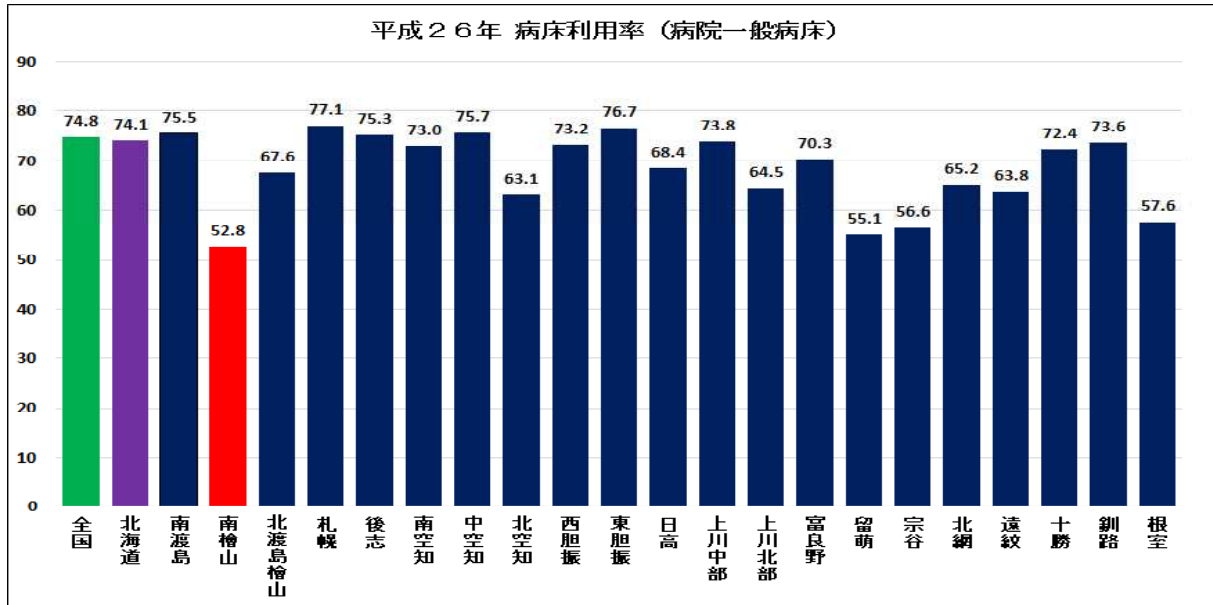


(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

3 病院の病床利用率

(1) 一般病床

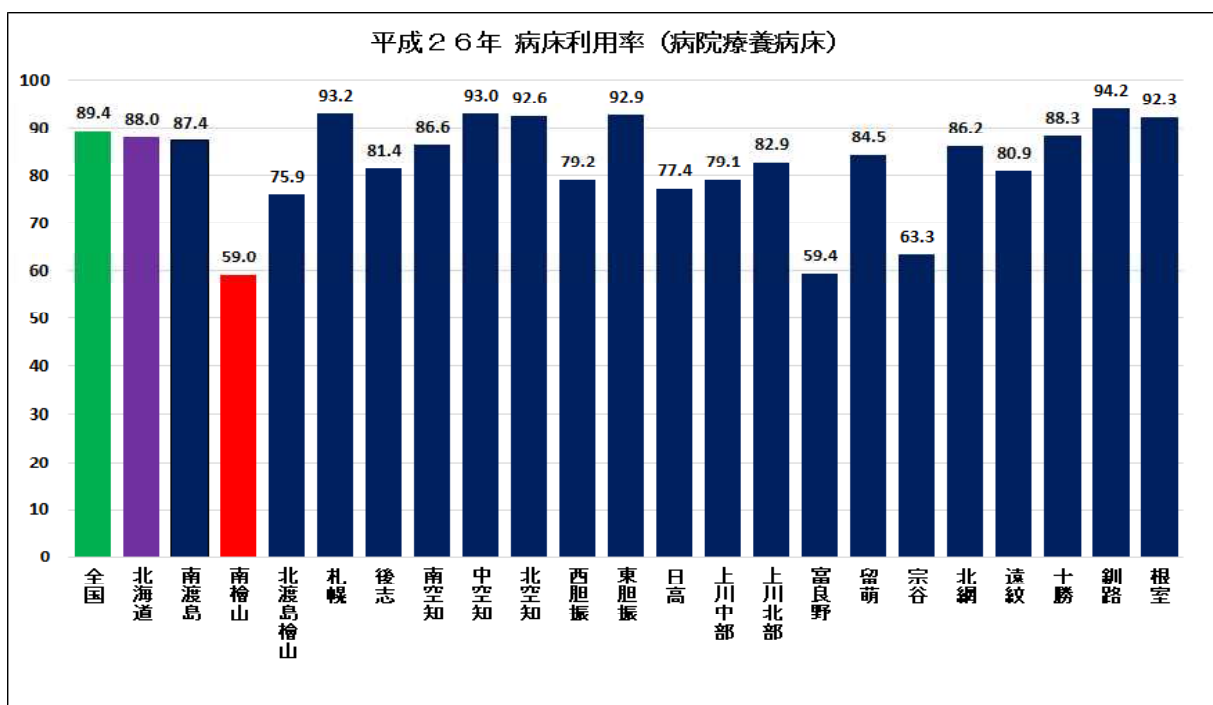
南檜山圏域では52.8であり、道内二次医療圏の中では最も低率となっています。



(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

(2) 療養病床

南檜山圏域では59.0であり、一般病床と同様に療養病床でも道内二次医療圏の中では最も低率となっています。

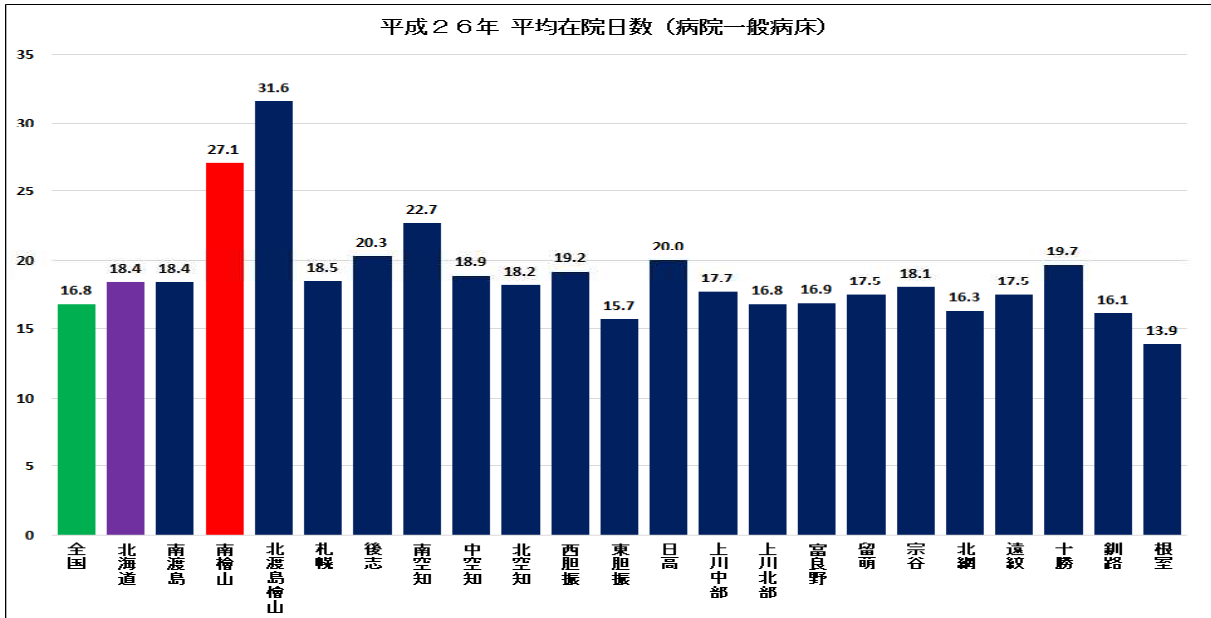


(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

4 病院の平均在院日数

(1) 一般病床

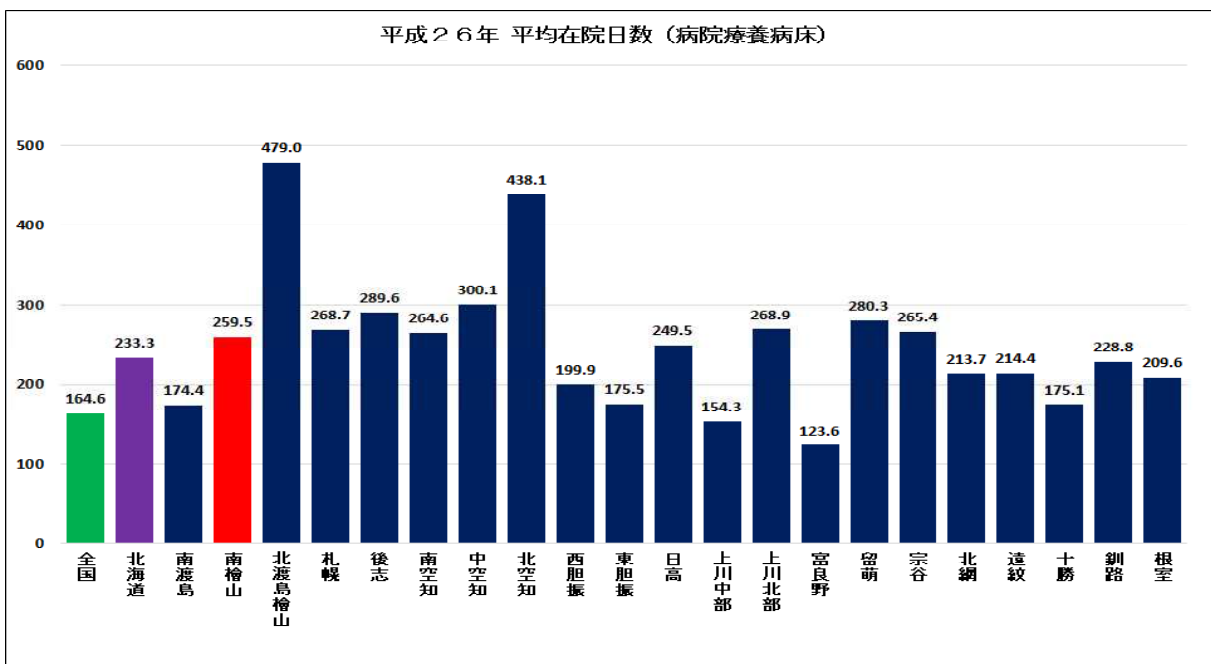
南檜山圏域では27.1日であり、道内二次医療圏では北檜山渡島圏域に次いで、第2番目に高い在院日数となっています。



(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

(2) 療養病床

南檜山圏域では259.5日であり、道内二次医療圏の平均的な在院日数となっています。



(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

5 医療施設の状況

(1) 全国、北海道

ア 病院数

各年10月1日

	14年	17年	20年	23年	24年	25年	26年		
							人口10万対	人口10万対	
全国	9,187	9,026	8,794	8,605	8,565	8,540	6.7	8,493	6.7
北海道	634	620	594	579	574	575	10.6	569	10.5

イ 一般診療所数

各年10月1日

	14年	17年	20年	23年	24年	25年	26年		
							人口10万対	人口10万対	
全国	94,819	97,442	99,083	99,547	100,152	100,528	79.0	100,461	79.1
北海道	3,344	3,363	3,375	3,377	3,386	3,396	62.5	3,377	62.5

ウ 歯科診療所数

各年10月1日

	14年	17年	20年	23年	24年	25年	26年		
							人口10万対	人口10万対	
全国	65,073	66,732	67,779	68,156	68,474	68,701	54.0	68,592	54.0
北海道	2,975	3,025	3,027	2,999	3,014	3,003	55.3	2,978	55.1

エ 病院病床数

各年10月1日

	14年	17年	20年	23年	24年	25年	26年		
							人口10万対	人口10万対	
全国	1,642,593	1,631,473	1,609,403	1,583,073	1,578,254	1,573,772	1,236.3	1,568,261	1,234.0
北海道	106,291	104,897	101,071	98,526	97,555	97,341	1,792.3	96,574	1,288.4

オ 一般診療所病床数

各年10月1日

	14年	17年	20年	23年	24年	25年	26年		
							人口10万対	人口10万対	
全国	196,596	167,000	146,568	129,366	125,599	121,342	95.3	112,364	88.4
北海道	12,252	10,152	8,657	7,522	7,363	7,259	133.7	6,590	127.7

※厚生労働省 平成26年医療施設(静態・動態)調査による。

(2) 南檜山の医療施設

ア 病院

病院数は、平成25年10月1日現在、5カ所となっており病床数は443床であり、人口10万人対比では全道平均（圏域1,791.3床、全道1,792.3床）となっています。

【病院数の推移】 * 北海道保健統計年報

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
病院数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

【開設者別病院数】 * 北海道保健統計年報

(平成26年10月1日現在)

開設者	国	道	町	公的病院	医療法人	その他の法人	合計
病院数	0	1	3	0	1	0	5

* 公的病院欄からは、自治体病院を除く。

【病床数の推移】 * 北海道保健統計年報及び道南地域情報年報による。

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総数	451	451	451	449	443	443	443	443	443	443	443
精神病床	50	50	50	50	48	48	48	48	48	48	48
結核病床	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染症病床	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
療養病床	120	120	120	126	126	126	126	126	126	126	126
一般病床	277	277	277	269	265	265	265	265	265	265	265

* 「伝染病床」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行され「感染症病床」に改められた。

* 一般病床には、旧「その他の病床」（療養型病床群を除く）を含む。

* 病院の療養病床には、旧療養型病床群を含む。

イ 診療所

一般診療所数は、平成25年10月1日現在、14カ所となっており、歯科診療所についても、12カ所となっています。

【一般診療所数の推移】 * 北海道保健統計年報

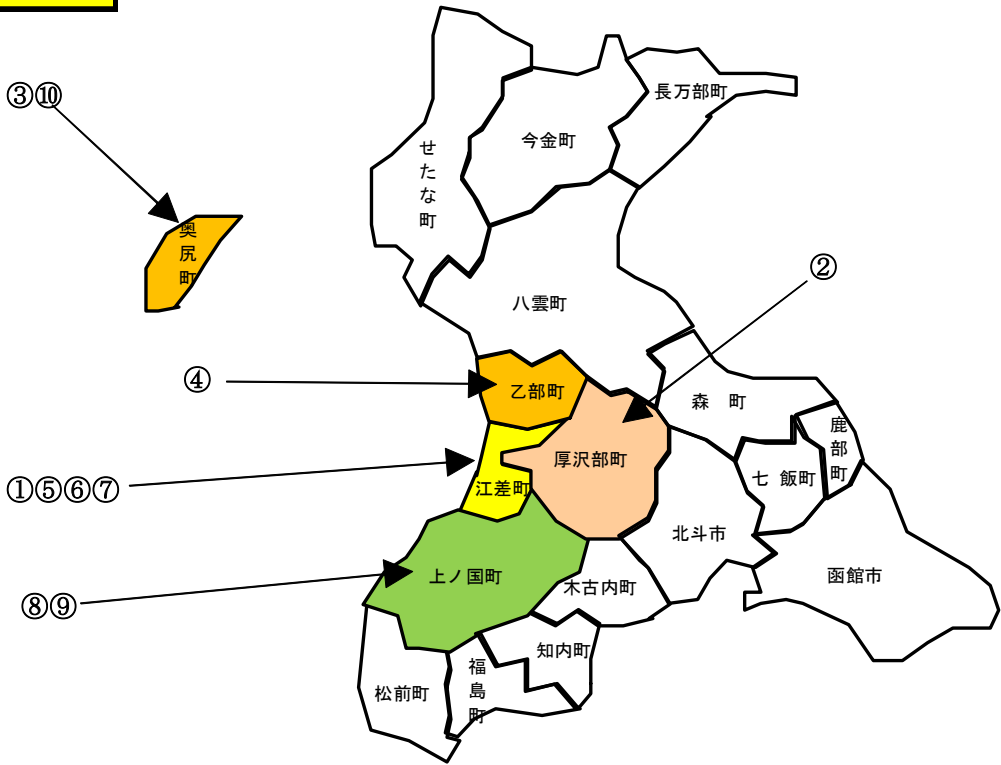
	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
総数	20	19	18	17	15	15	15	15	15	14	14

* 一般患者を受け入れていない許可診療所を含む

【歯科診療所数の推移】 * 北海道保健統計年報

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
歯科診療所	14	13	17	13	13	13	12	12	10	11	12

南檜山二次医療圏



(檜山振興局保健環境部保健行政室作成)

南檜山第二次医療圏の病院・有床（在宅医療）等診療所の現状

NO	医療機関名称	所在地	許可病床数					標ぼう診療科目	救急告示	
			総数	一般	療養	精神	結核			感染
①	北海道立江差病院	檜山郡江差町字伏木戸町484番地	198床	146床		48床		4床	内・精・神・呼・消・循・小・外・整・産婦・眼・耳・リハ・泌・皮・麻	○
②	厚沢部町国民健康保険病院	檜山郡厚沢部町新町14番地1	69床	45床	24床				内・外	○
③	奥尻町国民健康保険病院	奥尻郡奥尻町字奥尻462番地	54床	22床	32床				内・小・外・産婦・歯・矯齒	○
④	乙部町国民健康保険病院	爾志郡乙部町字緑町704の1番地	62床	52床	10床				内・小・外	○
⑤	医療法人社団恵愛会佐々木病院	檜山郡江差町字姥神町31番地	60床		60床				内・呼・消・循・アレ・リハ	
⑥	医療法人雄心会江差脳神経外科クリニック	檜山郡江差町字伏木戸町550-1	4床	4床					脳	○
⑦	道南勤医協江差診療所	檜山郡江差町字中歌町199番地の6	0	0					内,呼,消,循,小,リハ	
⑧	町立上ノ国診療所	檜山郡上ノ国町字上ノ国 274-4	19床	19床					内,消	
⑨	上ノ国町立石崎診療所	檜山郡上ノ国町字石崎243	19床	19床					内,外,小,整,皮,泌	
⑩	奥尻町国民健康保険青苗診療所	奥尻郡奥尻町字青苗242番地20	0	0					内,小,外	

(平成28年2月22日現在：檜山振興局保健環境部保健行政室作成)

6 病床機能報告制度の結果（平成26年7月1日現在）

一般病床、療養病床別の許可病床数ベース【平成26年7月1日時点の医療機能】

二次圏名	医療機能	病院	診療所	二次圏名	医療機能	病院	診療所	二次圏名	医療機能	病院	診療所
南 渡 島	高度急性期	353	0	西 胆 振	高度急性期	105	0	富 良 野	高度急性期	0	0
	急性期	3,200	269		急性期	1,409	38		急性期	297	38
	回復期	457	57		回復期	482	17		回復期	0	0
	慢性期	1,149	141		慢性期	1,442	19		慢性期	175	0
	無回答	81	58		無回答	205	43		無回答	0	0
南 檜 山	高度急性期	0	0	東 胆 振	高度急性期	27	0	遠 敷	高度急性期	93	0
	急性期	172	23		急性期	1,201	153		急性期	663	19
	回復期	0	17		回復期	240	0		回復期	48	0
	慢性期	223	19		慢性期	567	19		慢性期	429	19
	無回答	0	0		無回答	0	0		無回答	37	19
北 渡 島 檜 山	高度急性期	0	0	日 高	高度急性期	0	0	十 勝	高度急性期	697	0
	急性期	405	0		急性期	305	19		急性期	1,736	235
	回復期	33	0		回復期	0	0		回復期	453	26
	慢性期	536	0		慢性期	331	18		慢性期	1,400	40
	無回答	0	19		無回答	25	19		無回答	0	31
札 幌	高度急性期	3,895	33	上 川 中 部	高度急性期	1,353	0	釧 路	高度急性期	566	0
	急性期	14,176	1,690		急性期	2,574	373		急性期	1,706	134
	回復期	1,916	169		回復期	251	151		回復期	180	19
	慢性期	11,904	196		慢性期	1,884	74		慢性期	914	0
	無回答	293	207		無回答	77	1		無回答	100	19
後 志	高度急性期	8	0	上 川 北 部	高度急性期	11	0	根 室	高度急性期	0	0
	急性期	1,275	269		急性期	501	48		急性期	297	14
	回復期	174	76		回復期	62	0		回復期	34	0
	慢性期	1,231	71		慢性期	335	0		慢性期	189	0
	無回答	0	6		無回答	47	0		無回答	53	0
南 空 知	高度急性期	59	0	富 良 野	高度急性期	0	0	合 計	高度急性期	7,393	33
	急性期	1,120	204		急性期	297	38		急性期	34,461	3,809
	回復期	44	0		回復期	0	0		回復期	4,719	570
	慢性期	834	84		慢性期	175	0		慢性期	26,055	833
	無回答	0	0		無回答	0	0		無回答	1,111	443
中 空 知	高度急性期	26	0	留 萌	高度急性期	0	0	宗 谷	高度急性期	0	0
	急性期	860	58		急性期	368	38		急性期	442	38
	回復期	60	0		回復期	80	0		回復期	82	19
	慢性期	992	76		慢性期	206	19		慢性期	166	0
	無回答	0	0		無回答	52	0		無回答	24	0
北 空 知	高度急性期	0	0	合 計	高度急性期	0	0	高度急性期	0	0	
	急性期	270	0		急性期	442	38	急性期	0	0	
	回復期	0	0		回復期	82	19	回復期	0	0	
	慢性期	407	0		慢性期	166	0	慢性期	0	0	
	無回答	0	0		無回答	24	0	無回答	0	0	

区分	施設名称	全体	許可病床数				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
病院	厚沢部町国民健康保険病院	69床	0床	0床	0床	69床	0床
病院	乙部町国民健康保険病院	62床	0床	0床	0床	62床	0床
病院	医療法人社団恵愛会佐々木病院	60床	0床	0床	0床	60床	0床
病院	北海道立江差病院	150床	0床	150床	0床	0床	0床
病院	奥尻町国民健康保険病院	54床	0床	22床	0床	32床	0床
診療所	医療法人社団半澤医院	17床	0床	0床	17床	0床	0床
診療所	医療法人雄心会江差脳神経外科クリニック	4床	0床	4床	0床	0床	0床
診療所	上ノ国町立石崎診療所	19床	0床	19床	0床	0床	0床
診療所	町立上ノ国診療所	19床	0床	0床	0床	19床	0床
	合 計	454床	0床	195床	17床	242床	0床

(北海道保健福祉部福祉局地域医療推進局地域医療課作成)

7 医療従事者の状況（南檜山圏域）

- ・医師、歯科医師、薬剤師

医師、歯科医師ともに減少傾向にあり、平成24年度では、平成14年度と比較して医師11人（△25.6%）歯科医師6人（△33.3%）の減少、薬剤師4人（20.0%）の増加となっています。

【医師・歯科医師・薬剤師の状況】＊北海道保健統計年報

	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年
医師数	43	41	40	34	34	32	29
歯科医師数	18	18	16	13	12	12	13
薬剤師数	20	26	23	27	22	24	22

＊「医師・歯科医師・薬剤師調査」（各年12月末現在）による

・看護職員

看護師は微増傾向にあり、平成24年では、平成14年と比較して13人(8.5%)の増加となっていますが、准看護師は平成14年以降減少傾向となっています。

【看護師・准看護師の状況】 *北海道保健統計年報

	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年
看護師数	152	144	153	156	154	165	172
准看護師数	152	140	126	111	109	103	97

*「看護師等従事者届」(各年12月末現在)による

・その他の従事者(OT、PT等)

理学療法士、作業療法士等の病院従事者は、平成14年と比較して理学療法士は増減がありませんが、作業療法士は1人確保できたところです。管理栄養士は2人の増加(66.6%)、栄養士は2人の減少(△50%)の減少となっています。

【理学療法士、作業療法士、管理栄養士、栄養士の状況】 *北海道保健統計年報

	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年
理学療法士	2	2	2	2	2	2	2
作業療法士	0	0	0	0	1	1	1
管理栄養士	3	3	4	2	2	5	6
栄養士	4	3	3	2	2	2	1

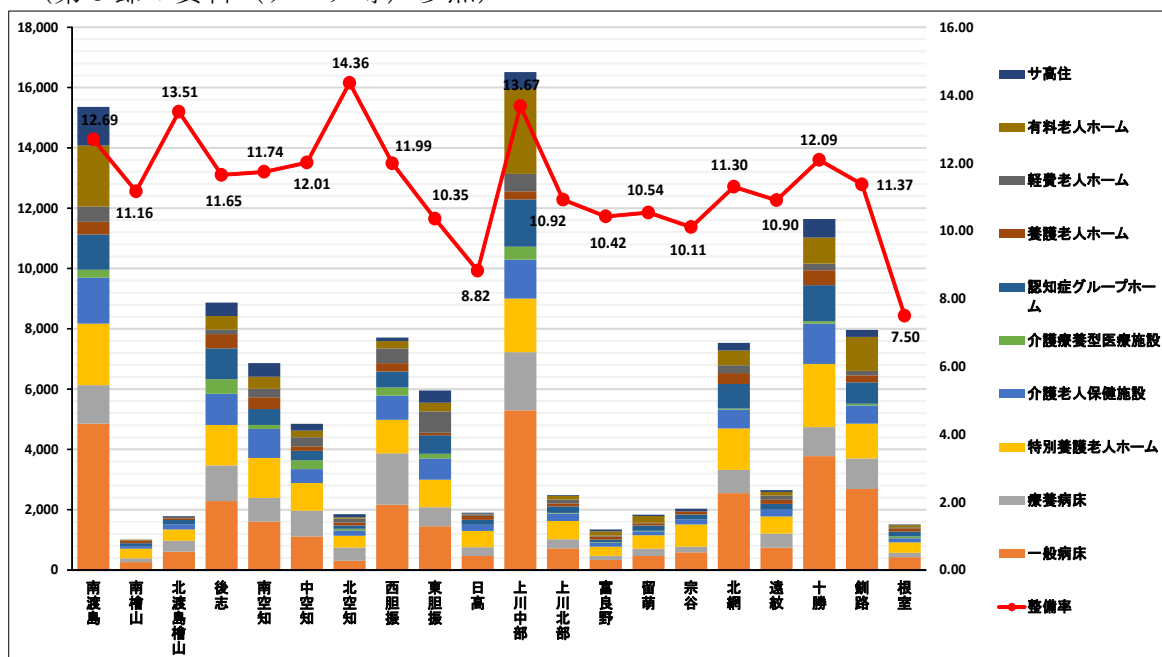
*各年末現在の数値であり、理学療法士、作業療法士については、平成14年以降は常勤換算後の人員による。

8 介護サービスの状況

65歳以上の人口に対する施設等の定員数の割合である介護サービス機関の整備率については、南檜山二次医療圏では11.16%と全道平均12.37%に比べやや低くなっています。

なお、特別養護老人ホームの整備率は3.53%（全道平均1.68%）及び養護老人ホームの整備率は0.88%（全道平均0.31%）と全道平均を上回っていますが、その他はおしなべて平均並み～低率となっています。

（第9節の資料（データ等）参照）



※管内の介護基盤幹事会資料から抜粋

また、介護サービス事業所の定員数は、次のとおりとなっています。

(人)

圏域	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症グループホーム	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	有料老人ホーム	サ高住
全道	25,397	16,524	4,240	15,107	4,667	6,088	18,355	13,294
南檜山	319	80	0	99	80	20	20	0

※ サ高住1戸＝定員1名とする。

※ 特定施設は、8～11の本体施設で計上

・定員数（戸数）についてはH27.4.1現在（施設運営指導課調等）

第5節 医療需要及び必要とされる病床数の推計

1 医療需要

(1) 高度急性期機能、急性期機能及び回復期機能

高度急性期機能、急性期機能及び回復期機能の医療需要については、2013年のNDB（ナショナル・データ・ベース）のレセプトデータ及びDPCデータに基づき、患者住所地別に配分した上で、推計を行います。

この推計は、2013年における実際の医療資源投入量を基に推計しているもので、平均在院日数、受療率は2013年の数値を活用していることとなります。